

ク白色ニシテ、タゞ目ニ黒睛アルノミ、生ナル時ハ微青色ヲ帶、性甚死シヤスシ、本經逢原ニ、大者
 不過三四寸、身圓無鱗、潔白如銀、小者尤勝、鮮食最美、曝乾亦佳ト云フ、ソノ腹多ク卵ヲ孕ス、乾者ニ
 テモ淡鹹雜レル水ニ入レバ、化生スト云フ、乾タルモノ備前ヨリ出ス、又細篋ニサシテ乾カスモ
 ノヲメザシト云フ、勢州ヨリ出ス、又格子海苔ニツケテ乾タルモノモアリ、一種シロウヲ、筑前一
 名シライヲ、肥前イサハ、雲州同イサハ、ビヲ、向上ヒヨゴ、勢州シラヒヨゴ、是麩條魚、潛確類書ナリ、
 一名麩條銀魚、卓氏藻林、白飯魚、廣西通志、白小、杜詩、湖團、養魚經、素鱗、事物紀原、水晶魚、廣東新語、此魚ハ、鱸殘魚ヨリ小ク、
 長サ二寸許、濶サ一分許、頭尖ラズ、圓ニシテ石伏魚ノ頭ノ如シ、全ク白色ニシテ目黒シ、享和壬戌、
 台命ヲ奉ジテ紀州熊野ヲ巡ル、路島田ヲ經、白小ノ生ナル者ヲ見ル、甚ダ透徹シテ水晶ノ如シ、岸
 ヨリ見レバ、ソノ頭丁斑魚ノ如シ、腹ニ小黑圈及ビ七ノ小黑星左右ニ相對ス、死スル者色白クシ
 テ透徹セズ、此魚三月海ヨリ川へ多ク上ルヲ梁ニテ取ル、性死シ難シ、故ニ温湯ニ入レ置テ賣ル、
 四月以後ハ絶テ無シ、丹後田邊ニハ上巳ノ比、海ニツヰキタル川ニテ取ル、方言イサハ、生魚ヲツ
 カミ指間ヨリ首ヲ出スヲ、早ク細篋ニテ目ヲ貫テ、三角ノ形ニナラベ乾タルヲ、イサハノ目ザシ
 ト云、又形大ク板ノ如クニシ、乾タルモアリ、ス。ボ。シト云フ、

〔毛吹草〕三攝津 川口蜆鮎 シロウヲ 伊勢 鮎 三河 麩屋白魚 武藏 白魚 備前 白魚

〔魚鑑〕下、ろらうを 中 備前平江、伊勢桑名に多し、武藏角田川及び中川のものも、桑名の種とい
 へども、水美なれば魚も亦美なり、諺にいふ、氏よりそだちなるべし、

〔攝陽群談〕十六名物土産 同 聚魚 シロウヲ 同所 西成郡佃村 川下潮境ニ於テ捕之、市店ニ送ル、魚細小ク煮之白シ、
 因テ世ニ白魚トス、

〔東都歲事記〕二見 白魚、淺草川の名物なり、初春海にあり、二月より川へ入、二三月頃子を砂石の間に
 生ず、その子秋にいたり下流し、江海に入て生長すといふ、